

今回の演奏会、色彩あふれた吉田誠さんのクラリネットでウェーバーを、もう一曲はドヴォルザークのアメリカ、と決めています。前半の曲目を考えていたときに たまたま高槻出身の作曲家家中村滋延さんと知り合うチャンスがあり、きけば幼い頃過ごした高槻の自宅のすぐ近所、同じ空気を吸って育った感覚。彼の曲を弾こうと思いました。それなら今回は日本の作曲家の曲を取りあげよう。10年前林光先生ご自身に長岡京室内アンサンブル用に編曲して頂いた映画「裸の島」のテーマと、武満の3つの映画音楽。こうして出来上がったプログラムを俯瞰すると、図らずも、様々な意味のふる里、心の原風景という共通のイメージがあり、プログラムの題を「望郷に寄す」としました。皆様の心の奥の心のふるさとにお届け出来ればと思っています。

長岡京室内アンサンブル Nagaokakyo Chamber Ensemble

「地域ごとに独自の音色を持つオーケストラがあるヨーロッパのように、長岡京独自の音色、思想を持った演奏団体を育てたい」、1970年代より欧米を中心に教育、演奏両面で国際的に活躍してきたヴァイオリニストの森悠子は、国内外から優秀な若手演奏家を集め、実家のある長岡京市に1997年3月に結成。指揮に頼らず互いの音を聴く「耳」を研ぎ澄ませる独自のスタイルを特長に、緻密で洗練された技術と凝集力の高さ、独自の様式感覚を持った高度の表現法と音楽性の高さは、日本でも希有な存在として高く評価される。バロックから古典、ロマン派、近現代に至るレパートリーの広さも際立っている。2000年「第20回音楽クリティッククラブ賞」、01年「エクソンモービル音楽奨励賞」、03年「ABC音楽賞本賞」、「藤堂頭一郎音楽褒賞」、04年長岡京市「文化功労賞」など受賞多数。毎回、コメンターの他にこれから世に飛び立とうとする新人があたかも新陳代謝をするかのように入れ替わるが、演奏レベルが下がることはない。これまでにfineN&Fから9枚のCDをリリース、高度な最新技術を駆使して録音されたレベルの高い演奏で、音楽評論家や音楽専門誌、新聞などでも評価高く、いずれも推薦版としてリリースされている。「長岡京」から世界の第一線へ雄飛するメンバーも多い。

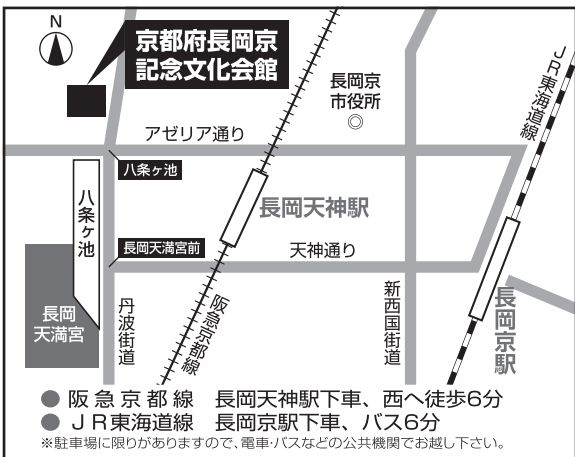
公式HP www.musiccem.org

吉田 誠 (クラリネット Makoto YOSHIDA)

5歳からピアノを、15歳からクラリネットを、22歳から小澤征爾、湯浅勇治の各氏のもとで指揮を学ぶ。東京藝術大学入学後、渡仏。フランス地方国立リュエル・マルメゾン音楽院を審査員満場一致の最優秀賞ならびにヴィルトゥオーゾ賞を得て高等課程を最短二年で卒業。文化庁海外新進芸術家派遣員として、パリ国立高等音楽院に首席入学し、ミシェル・アリニヨン、パスカル・モラゲス両氏のもとで研鑽を積み、ジュネーヴ国立高等音楽院では、ロマン・ギュイヨ氏に師事した。第5回東京音楽コンクール木管部門第1位及び聴衆賞。2014年、トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンのソリストに抜擢され全国ツアーに参加。同年デビューCDをリリース。2015年より自主企画リサイタルシリーズ「五つの記憶」を始動。これまでにサイトウ・キネン・フィスティバル松本(現セイジ・オザワ 松本フェスティバル)、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、ルツェルン・フェスティバル・アークノヴァ、サントリホール チェンバー・ミュージック・ガーデン、神戸国際芸術祭等の音楽祭や国内外のオーケストラにソリストとして招かれる他、日本、フランス、ドイツ、オーストリア、中国でリサイタル、室内楽公演を重ねている。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」他メディア出演も多数。パリ在住。オフィシャル・ウェブサイト makoto-yoshida.com

森 悠子 (ヴァイオリン Yuko MORI / 長岡京室内アンサンブル 音楽監督)

教育哲学者・森昭の次女。6歳より才能教育でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、齋藤秀雄教授の助手を務めたのち、旧チェコスロバキア、フランスに留学。74年パイナル室内管弦楽団入団。77~87年フランス国立新放送管弦楽団に在籍。89~96年リヨン国立高等音楽院助教授。89年フランス国立高等音楽院の教育システムを取り入れ、教授陣を招聘して毎春開催する京都フランス音楽アカデミーを創案、翌年関西日仏学館(現アンスティチュ・フランセ関西・京都)にて開講、音楽監督に就任(~2011)。97年「若い音楽家の育成と実践の場」とする長岡京室内アンサンブル設立。99~04年ルーヴル大学シカゴ芸術大学音楽院教授。09年~17年くらしき作陽大学音楽学部教授。フランス政府より91年芸術文化勲章「シュヴァリエ章」、03年同「オフィシエ章」授与。02年「京都府あけぼの賞」16年「第34回京都府文化賞功労賞」、17年「京都市芸術振興賞」受賞。08年特定非営利活動法人音楽への道CEM設立、理事長に就任。著書に「ヴァイオリニスト 空に飛びたくて」(春秋社)がある。



特定非営利活動法人 音楽への道CEM

森 悠子のプロペラプロジェクト~子ども音楽道場~

これまでに多くの音楽家を育てきた森 悠子が、子ども達の為に音楽を通して行人間形成の教育プログラムです。子どものうちから初めて出会う仲間であっても、一緒に合奏して、それぞれ自分の課題に向き合いながら、「聴く」こと、どうすれば美しく響き合うか考えながら「弾く」感性を育てたい。共に音楽を創る喜び、達成感、そしてお互いを聴き合いながら美しいハーモニーを生み出す感動を体験します。その学びの中にこそ子どもの本当の自立心の芽が生まれる。それが森悠子の確信の核です。

第14回プロペラプロジェクト 2020年2月22日(土)~23日(日) 10:00~16:30

【対 象】小・中学生(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスのいずれかを習っている人)
 【会 場】京都大学YMCA 地塩寮2階ホール 【受講料】2日 12,000円 聴講料1日 1,000円
 【お申込】特定非営利活動法人 音楽への道CEM 【電話】075-351-5004 【メール】office@musiccem.org

※ 詳細案内は長岡京室内アンサンブルHPでご覧いただけます。 <http://www.musiccem.org/>

日本映画音楽史上に燦然と輝く、林光と武満徹の「3つの映画音楽」を収録!

1. 林 光:3つの映画音楽 **演奏曲目**
 ①裸の島のテーマ~「裸の島」より
 ②下剋上の歌~「真田風雲録」より
 ③ラストシーン・新子の死~「秋津温泉」より

2. ヴィヴァルディ:四季
 ~協奏曲集「和声と創意への試み」作品8
 ソロ Vn: 春=谷本華子 夏=高木和弘
 秋=青谷友香里 冬=ヤネケ野

■CD:MF20106
 長岡京室内アンサンブル(音楽監督:森悠子)

湧き上がる感動の祈り

1. ベルト: 東洋と西洋
 2. 武満徹:3つの映画音楽 **演奏曲目**
 訓練と休息の音楽(ホゼー・トレス)より/ 葬送の曲(黒い雨)より
 ワルツ(他人の顔)より

3. ピアソラ:3つの小品 4. バーバー: アダージェョ
 5. ギャニュー: シャコンズ(森悠子委嘱作品)
 ボーナストラック(1)(SACD層のみ):ふるさと(新編曲:牟岐 礼)
 ボーナストラック(2)(CD層のみ):ピアソラの「天使のタンゴ」より3曲

■ハイブリッドSACD: NF60104
 長岡京室内アンサンブル(音楽監督:森悠子)

演奏会当日会場でCDの即売をおこなっています。(サイン会あり)
 録音・制作: N&F Co., Ltd. Tokyo 販売元: ユニバーサル ミュージック合同会社IMS